

# 平成22年度 財団法人静岡県文化財団事業計画

## 1 基本方針

平成22年度は、当財団にとって、第2期グランシップ指定管理事業の中間年であり、第3期の受託に向けた準備や、新公益法人制度に向けた財団事業の再構築を進める時期である。

財団は、地域に根差した個性豊かな県民文化を振興し、県民生活の向上と活力あふれる郷土づくりに寄与するため、静岡県文化振興基本計画における財団の役割を踏まえ、県内文化活動の一層の支援や文化団体のネットワークづくり、コンベンション開催等による県内外との交流支援により、グランシップを中核とした各種文化振興事業を推進する。

なお、今期の指定管理期間は、「上質を身近に」「経営における効率化の推進」の2点を総合的な基本方針として、指定管理事業を実施する。

## 2 事業概要

### (1) 文化情報の提供事業

事業費：9,708千円

新書により静岡県における自然、歴史、民俗、生活文化等を取り上げ、追求し記録する。

「しずおかの文化」新書の発行

静岡県内の文化にまつわる様々な事柄を1つのテーマとして取り上げ、記録し保存する「しずおかの文化」新書を編集・発行する。今年度は4冊発行。3年間で12冊発行予定。

なお、グランシップ自主企画事業として、本事業と連携した「しずおかの文化」講演会（4回）、体感ツアー（4回）を実施する。

- ・新書判、200頁程度、2,000部発行（うち無償600部）
- ・テーマは、6人程度の企画委員により検討

### (2) 文化意識の啓発事業

事業費：900千円

県民の文化意識の高揚を図るため、地域で活躍する文化団体を顕彰する。

地域文化活動団体の顕彰

ふるさとの伝統を礎に、新たな地域文化の創造を目指し、県内各地で多彩な文化活動を展開している団体から活動事例を募集し、顕彰する。

項 目	内 容
募 集 期 間	平成22年8月～9月
対 象	地域文化を育て、文化の香り高い郷土づくりに貢献している静岡県内に活動の本拠を置く文化団体
選 考 ・ 発 表	当財団の「地域文化活動賞選考委員会」において選考し、受賞団体を公表（平成22年12月）
表 彰 ・ 活 動 発 表 会	平成23年3月13日（日） ・ 地域文化活動賞 1件 賞金20万円 ・ 地域文化活動奨励賞 若干 賞金1件あたり5万円

### （3）地域文化の振興事業

事業費：12,300千円

地域文化の創造と発信を促進するため、県内各地域で活動する文化団体等を支援するとともに、市町等が地域の文化団体を活用した事業に対して支援する。

#### ア 地域文化団体の活動支援

県民の自発的な取り組みによる多彩な文化活動への参加・参画を促進し、地域の文化活動の活性化や静岡文化の国内外への発信を図るため、県内の各種の文化事業を実施する個人又は団体に対し、助成を行う。

<ふじのくに文化交流・発信事業補助金交付要綱>

補助対象者	文化活動団体又は個人	
補助対象事業	① 国際文化交流事業	海外公演及び外国の文化団体との合同公演
	② 広域的芸術文化事業	全国・ブロック規模の文化の大会等への参加、地域を超えた全県的規模の公演、展示等の文化活動
	③ 住民参加型 自主企画事業	地域の民話や歴史等を活用した住民参加型の自主企画事業
補助額	100千円～500千円（上限）	

#### イ 地域文化団体を活用した事業への支援

県内の公立文化施設を運営・管理する市町等が、地域文化団体と共同して実施する文化事業に対し、助成を行う。

<地域文化団体活用支援事業補助金交付要綱>

補助対象	市町等
補助対象事業	市町等と県内地域文化団体が共同して実施する事業
補助額	100千円～2,000千円（上限）

**(4) 文化鑑賞機会の提供事業****事業費：1,000千円**

身近な会場で催される様々な文化的催事を通じて、県民が優れた文化に接することができるよう、文化鑑賞機会の提供を行う。

## 地域の音楽公演

生演奏による音楽鑑賞の機会が比較的少ない地域で、県内音楽家によるコンサートを実施する。  
(静岡県文化協会への委託事業)

開 催 地	演 奏 団 体	開 催 時 期
沼津市立戸田中学校 (対象は戸田小学校)	静岡室内楽協会 静岡県三曲連盟	10月22日
牧之原市立相良小学校	静岡県演奏家協会	11月 2日
浜松市立篠原中学校	静岡室内楽協会	10月15日

**(5) グランシップ自主事業****事業費：300,275千円**

県民の文化創造発信拠点であるグランシップにおいて、質の高い公演の招聘や、自ら企画制作する自主企画事業、催事情報提供事業を実施する。

また、「静岡県文化振興基本計画」に基づく積極的な文化支援と、交流拠点としての賑わい創出を目指し、昨年度より文化支援・賑わい創出事業を実施したが、これを継続、展開する。

事業実施にあたっては、(財)静岡県舞台芸術センターや財団固有事業と密接な連携を図り、効率的かつ効果的な実施を図る。

## ア 自主企画事業

(事業費：268,275千円)

文化創造と交流のための県の拠点施設として、身近な場所で、幅広い分野の上質なものに直に触れる機会を県民に提供する。

事業の展開にあたっては、以下に掲げる3つの基本方針に基づき、実施する。

1. 子どものときから本物に触れる－鑑賞機会の提供
2. 地域の文化活動の担い手をつくる、育てる、支える
  - －地域の文化振興、芸術文化における教育普及
3. 本物の文化を出前で届ける－アウトリーチ活動の推進

(詳細は別添一覧表のとおり)

項 目	事業本数	事業費
鑑賞機会提供事業	27本	139,748千円
文化振興・教育普及事業	20本	62,227千円
アウトリーチ事業	1本(7公演)	3,000千円

イ 催事情報提供事業

(事業費：22,000千円)

項 目	内 容
各種公演のチケット販売	グランシップ自主企画事業等のチケットを販売
グランシップイベントカレンダーの発行（隔月発行／52,500部）	グランシップの各種イベントや県内の文化施設等の催事情報を提供するため、イベントカレンダー「ON BOARD」を発行
グランシップマガジン「G. [ジー]」の発行（年4回／20,000部）	グランシップの自主企画事業や施設等について紹介する総合情報誌「G. [ジー]」の発行
情報ラウンジ等における催事情報の提供	グランシップ自主企画事業や、県内文化施設の催事情報を収集し、情報ラウンジ等で紹介

ウ 文化支援・賑わい創出事業

(事業費：10,000千円)

「静岡県文化振興基本計画」の策定を踏まえ、積極的な文化支援に取り組むとともに、東静岡に広範な人々が集う、交流拠点としての賑わい創出を目指し、「文化をつなぐネットワークづくり」「文化を軸とした賑わい創出」に加えて、新たに「アートマネジメント人材育成」に取り組む。

項 目	内 容	事業費
文化をつなぐネットワークづくり	静岡県文化情報総合サイト「しずおかの文化情報」の管理・運営 文化情報センター（仮称）設置準備 文化交流の場の創出	5,720千円
文化を軸とした賑わい創出	無料コンサート、ミニ展示会等、オープンスタイルの催事実施	2,460千円
アートマネジメント人材の育成	公立文化施設職員、学生向け研修の実施	1,820千円

**(6) グランシップ管理運営事業**

**事業費：959,398千円**

静岡県コンベンションアーツセンター（グランシップ）の指定管理者として、施設の適正な維持管理及び貸館業務等の円滑な運営を行い、グランシップが、広く利用され、「県民の心のオアシス」として賑わいある施設となるよう業務を推進する。

また、全国等の公立文化施設協議会等の団体への加盟や、県民参加システム（サポート組織）の充実をはかる。

ア 施設の管理運営

(事業費：947,288千円)

グランシップの利用者が安全に施設を利用し、人々が憩い集う快適な空間を提供するため、専門業者に、警備、清掃等の各業務を委託しながら、適切に館の運営管理を行なう。

管理運営に当たっては、使用エネルギーの最適化を進め、常に省エネルギーに努める。

イ 貸館事業（営業・広報活動）

（事業費：6,510千円）

収益性と公共性のバランスを確保しつつ、「親切・丁寧・柔軟・迅速」をモットーに県民ニーズに的確に対応した貸館事業を実施する。

項目	目 的	内 容
貸館業務管理	・利用者の視点に立った、正確・迅速な貸館業務を実施する。常に、お客様への「親切・丁寧・迅速・柔軟」な対応を意識し、顧客満足度を向上させ、再利用や利用の拡大を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>貸館業務の適切な管理運営</li> <li>貸館情報の提供</li> <li>貸館業務の管理（受付～料金収納）</li> <li>催事開催のサポート</li> <li>利用主催者へのヒアリングや訪問等</li> <li>催事終了後のアンケート実施</li> </ul>
営業活動	・富士山静岡空港の開港による国際化の進展等も視野に入れながら、コンベンション等を積極的に誘致し、館の利用の一層の拡大を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内外への営業訪問活動</li> <li>コンベンション主催者への訪問</li> <li>観光コンベンション協会と連携</li> <li>国際ミーティングエキスポ等への参加</li> <li>県等との連携の推進</li> </ul>
広報活動	・主催者や催事参加者にグランシップの施設や利用形態の広報を行い、利用の促進や来館者の利便性の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページでの情報提供</li> <li>営業用チラシ等の作成</li> <li>ノベルティグッズの作成</li> </ul>

平成22年度利用予定の全国規模の大会等

催 事 名	会 場	開 催 期 日	入場見込
第39回 都市交通計画 全国会議	会議ホール等	5月18日	300人
第48回 関東ブロック郡市区町村社協職員 合同研究協議会	会議ホール等	7月22日～23日	400人
第37回 全国学校図書館研究大会	中ホール等	8月4日～6日	2,500人
第51回 関東甲信静公民館研究大会	中ホール等	8月19日～20日	850人
平成22年度 日本応用糖質科学会大会	会議ホール等	9月15日～17日	500人
第52回 天然有機化合物討論会	中ホール等	9月29日～10月1日	1,000人
第13回 全国全体構造臨床言語学会学術集会	会議ホール等	10月9日～10日	200人
第4回 世界お茶まつり2010	全館	10月28日～31日	
第64回 全国レクリエーション大会	全館	11月6日～8日	
第54回 宇宙科学技術連合講演会	会議ホール等	11月17日～19日	700人
東海薬剤師学術大会	中ホール等	11月22日～3日	1,200人
日本薬学会 第131年会	全館	3月29日～31日	

ウ 公立文化施設協議会等への加盟 (事業費：600千円)

文化施設の全国的協議会などに参加し、他の公立文化施設等と情報の交換、連携を図るとともに、このネットワークを活用する。また、県内においても、グランシップを核とした静岡県公立文化施設協議会のネットワークの充実を図る。

加盟団体名	会員数	備考
(社) 全国公立文化施設協会	1,262	平成22年度 副会長
関東甲信越静地区公立文化施設協議会	271	平成22年度 副会長
静岡県公立文化施設協議会	42	会長 (事務局兼任)
全国展示場連絡協議会	67	
国際会議場施設協議会	34	
関東甲信越静地区文化振興財団等連絡会	12	平成22年度 会計監査

エ サポート組織運営 (事業費：5,000千円)

グランシップの事業運営に県民が自主的に参加・参画できる場を提供する。

また、この活動を通して県民の文化意識の向上を図るとともに、県内各地の文化施設で活躍できる人材を育成する。

なお、サポーターによる自主企画催事に対して、積極的に支援する。

(平成22年4月1日見込)

採用区分	業務内容	登録者数
平常業務	来館者案内、ダイレクトメール発送 アンケート結果の整理、情報収集等	87名
イベント業務	受付、もぎり、資料配布、会場案内、避難誘導等	80名
撮影業務	イベント・公演時の記録撮影、記録写真の整理	17名
託児業務	公演時の託児サービス	3名
計		187名

**(7) 友の会事業****事業費：5,700千円**

グランシップ自主企画事業への参加を促し、チケット販売に役立てるとともに、県民の芸術文化に対する関心を高めるため、「グランシップ友の会」の運営を行う。

種 別	年会費	特 典	会員数※
個人会員	2,000円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自主企画事業のチケット優先予約（一般発売の1週間前）</li> <li>・ 指定する自主企画事業のチケット割引販売（10%OFF）</li> <li>・ 公演情報の無料提供</li> <li>・ グランシップ友の会提携店及び提携館での割引サービス他</li> </ul>	1,737名
法人会員	特別 会員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報誌への法人名掲載</li> <li>・ グランシップ1階エントランスホールに法人名掲出</li> <li>・ 自主企画事業への招待（年間20名又は、6名）</li> </ul>	5社 (1,420名)
	一般 会員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務局が指定する事業の招待券を従業員数分（上限1,000枚又は、500枚）配布</li> <li>・ 法人会員の社員等は個人会員に対する特典と同様の特典</li> </ul>	15社 (2,402名)

※会員数は、平成21年2月末現在

**(8) 自動販売機等管理事業（特別会計）****事業費：6,000千円**

来館者サービスの向上を図るため、館内に自動販売機・公衆電話等を設置し、管理する。

また、特別会計の収益を館内外の装飾等に充てるなど、県民への還元をすすめる。